

# サステナビリティ・ トランスフォーメーションに向けて

2015年のSDGsの採択やパリ協定の合意を機に、企業のサステナビリティへの取り組みが強く求められるようになってきています。日本でも2050年までにカーボンニュートラルを目指す政府目標の宣言（2020年10月）や、社会・ガバナンスを含めたサステナビリティ情報の開示を義務化する内閣府令の公布（2023年1月）などを受け、サステナビリティの取り組み及び情報開示の動きが加速しています。

企業のサステナビリティにおける取り組みは、投資家・消費者・従業員・地域社会といった様々なステークホルダーから求められており、ESG投資への注目も高まっていることから、法令遵守等のリスク回避にとどまらず、経営戦略として積極的に推進し、新たな事業機会・競争優位の獲得を図っていくことが重要と考えます。

## 新聞・放送業界を取り巻く環境



### 新聞・放送業界の取り組み

新聞・放送業界においても、紙のリサイクルや環境に配慮したインクの使用、省エネルギー化、リモート制作技術の導入など環境負荷軽減活動に加えて、環境や社会の課題に関する報道・番組制作を通じた様々な取り組みが行われていると認識しています。また、今後はカーボンニュートラル目標の設定や、カーボンフットプリントの算定・開示、再生可能エネルギー導入等の対応等、環境をはじめとしたサステナビリティの取り組みへの活動をより進めていくものと推察しています。



### 現状課題

しかしその一方で、紙運用に依存する業務が多く、紙の大量消費から脱却することができていない、また、流動的な勤務時間から電力消費の削減にも課題が残っているのではないかと推察します。

これらの問題を解決するためには、サステナビリティという観点だけでなく、業務そのものやプロセス、システムの変革も同時に行っていく必要があると考えます。

## 現状の課題解決に向けて

現状の課題を解決し、サステナブルな経営・環境への貢献に向けて、取り組みを進めていくための解決案をご説明します。弊社では、サステナビリティの取り組みを進めるために必要なステップは以下の通り、大きく3つあると考えています。

**STEP 1**

### 現状の可視化

取り組みを進めるために企業はまず、自社のサステナビリティ関連のデータを各拠点から収集・集約し、現状を可視化しておく必要があります。収集したデータは、STEP2で目標を設定する際のベースラインデータとなります。

**STEP 2**

### 目標の設定

可視化した情報を踏まえ、戦略を策定していきます。ESGに係る投資、開示規制、評価基準等の動向の中から、企業経営へ影響を与える動向を調査し、長期目標を設定してロードマップを描きます。

**STEP 3**

### 施策の実行

目標の達成に向け、実施施策を検討し、実行していきます。施策の進捗状況は、定期的にモニタリングし、取り組みの成果としてステークホルダーへの情報開示等、データ活用していきます。

上記をベースに、弊社では様々なテクノロジーや知見を用いてメディア業界の企業様の事業推進をご支援いたします。

## 富士通の取り組みやケイパビリティ

### 富士通の環境の取り組み

富士通グループにおいても、環境への取り組みを30年以上に渡り推進してまいりました。環境活動を計画的かつ継続的にレベルアップさせるため、具体的な取り組み目標として1993年から環境行動計画を定め、継続的に更新しながら、PDCAサイクルを回しています。

一方、変化が大きく先の見通しが難しいVUCA時代の中では、経営トップ主導の下、地球社会の一員として環境・社会・経済の視点から課題解決に向けた事業活動を行い、社会に対する有益なインパクトを生み出していくことが重要です。

そのため、取締役会、経営会議の監督・指示の下、サステナビリティに配慮した経営を主導する「サステナビリティ経営委員会」を、2020年4月に設置しました。

本委員会では、環境・社会・経済に与える影響を考慮し、様々なステークホルダーに配慮したうえで企業を長期的に繁栄させていくという、責任あるグローバル企業としての「サステナビリティ経営」を目指し、取り組みを推進しています。

富士通の環境の取り組み <https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/>

富士通のサステナビリティ経営 <https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/vision/policy/>

### 取り組む方向性に対する富士通の支援

サステナビリティの取り組み・情報開示の要請は、今後ますます強くなっていくものと思われます。

新聞・放送業界においても、ESG観点を踏まえた戦略・ストーリーを組み立てる必要があり、そのためまずは、先で述べたSTEP1「現状の可視化」  
として、自社のESGに係る情報を適切に管理することからはじめる必要があると考えています。

富士通では、ESGデータを統合管理するソリューション「EcoTrack」を保有しています。FUJITSU Eco Trackの各種集計機能により、データの入力ミスや入力漏れの防止、エビデンス管理が可能となります。また、期限日や未提出拠点に自動でメール送信することで、集計作業が大幅に削減できます。Eco Trackで収集したデータは、各ステークホルダーへの開示データとしてご活用いただけます。

EcoTrackページ紹介 <https://www.fujitsu.com/jp/group/fjj/solutions/industry/environment/ecotrack/>

また、富士通では、現場のデジタルトランスフォーメーション（DX）を支えるサービス基盤「COLMINA」を保有しています。

みずからのものづくり企業としての業務ノウハウ・知見を活用し、ものづくり現場を知り尽くしたエキスパートが、企業文化や業務プロセスも包含して、現場のデジタルトランスフォーメーションをご支援いたします。

情報のデジタル化及び利活用、業務の効率化と品質の向上、製造工程の変革・最適化など、各企業様の課題に合わせ、60以上のソリューションの中から、最適なソリューションを組み合わせでご支援いたします。

COLMINAページ紹介 <https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/manufacturing/monozukuri-total-support/>

そのほか、サステナビリティに関するグローバルオファリングも各種取り揃えており、お客様のご要望に合わせてご支援いたします。

## 富士通からのメッセージ

### SXの実現に向けて（Fujitsu Technology and Service Vision (FT&SV)）

Fujitsu Technology and Service Vision (FT&SV) は、富士通がどのような未来をお客様やパートナーと共に実現したいのか、ビジョンの実現のためにどのようにテクノロジーが人々をエンパワーするのか、そして、私たちがどのようなアクションを取るべきなのかを提言する進化を続けるストーリーです。

私たちは、地球という限界の中で環境、人、経済が相互につながり合う持続可能な再生型の社会が求められていると考えています。再生型の社会の実現に向けて、企業にはどのような変革が求められ、テクノロジーはどのように貢献することができるのでしょうか？ FT&SV2023では、最初にサステナビリティとビジネスをどのようにして一体化すればよいか、次にテクノロジーの進化が導く未来ビジョン、そしてビジネスや社会の変革にむけた具体的な取り組みについて私たちの考えをお伝えします。

Fujitsu Technology and Service Vision (FT&SV)

<https://www2.fujitsu.com/jp/vision/>

### 持続可能な世界に向けたサステナビリティ・トランスフォーメーション

今日の分断された世界で、私たちは様々な変化に直面しています。複雑に絡み合った課題に、業種を越えて取り組むことが求められています。

「Fujitsu Uvance」は、社会課題の解決に挑むグローバルソリューションです。

テクノロジーとイノベーションにより人々や地球環境、デジタル社会の発展にポジティブな変化をもたらすとともに、お客様のビジネスの成長を促進し、企業のサステナビリティ・トランスフォーメーションを加速します。

ビジネスを加速し、社会課題に挑むソリューション「Fujitsu Uvance」

<https://www2.fujitsu.com/jp/uvance/>



詳細については「メディア&エンターテインメントDX」Webサイトをぜひご覧ください。  
今後もメディア業界における最新の事例や技術情報などを継続して発信してまいります。

トップページ <https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/media/index.html>

サステナビリティ <https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/media/csr/>

▼ サステナビリティの取り組み等に関してご興味がありましたら、下記までお問合せください。

#### お問い合わせ先

富士通株式会社

メディア & エンターテインメントDXサイト事務局

Tel 0120-933-200

E-mail [contact-media1@cs.jp.fujitsu.com](mailto:contact-media1@cs.jp.fujitsu.com)

Web <https://contactline.jp.fujitsu.com/contactform/csque33201/195296/>